

## 議会広報モニター会議で出された意見・感想

開催日：令和6年5月18日（土）13時30分～15時

会場：駒ヶ根市役所議場他

グループ（会場）	議員	モニター
A （第3委員会室）	押田慶一、竹村知子、 小林敏夫、竹村誉	井上奈々さん、太田政代さん、倉田優孝さん、 唐澤由美さん、赤羽明人さん
B （議長応接室）	藤井邦彦、竹上陽子、 氣賀澤葉子、中島和彦	宮入一雄さん、下村ひろ子さん、清水麻美さん、 清水明子さん、柳澤みゆきさん
C （第2委員会室）	中山万宝、今堀雷三、 小原晃一、池田幸代	小澤雅樹さん、佐々木時男さん、倉田千佳さん、 河嶋智奈美さん

### 1. 議会だよりについて

- ・ 表紙が議員の顔の切り抜きは良い。笑顔で楽しげな感じがする。（若者の雑誌にもある）
- ・ さあっと見るだけで質問と、市長がどう答えているか、他はあまり読んでいない。
- ・ 子育ての時は見ていたが、今は、あまり。QRは大事ですね。
- ・ 最初の頃よりずっと読みやすくなっている。
- ・ モニターやらせていただいて良かった。表紙は素敵だが、ライチョウは市報の表紙では。
- ・ 市報と比べてしまうが表紙に駒ヶ根の魅力が（ライチョウなど）載ると市民が見やすい。
- ・ 一般質問は読みやすくなったがその後結果どういう判断を議員としてされたかが載っているとわかりやすい。
- ・ 委員会審議の結果の経緯がわかるといい。（紙面の関係もあると思うが）
- ・ 活字が多い、情報は多いのでいれないけど見たいという意識づけが必要では。
- ・ 全体に文字数が多く、字が小さくて読みにくい。
- ・ 見出しで分かりやすく目に入るように工夫してほしい。
- ・ 伝えたい内容を取捨選択して簡潔にまとめるように工夫してほしい。
- ・ 議員それぞれにQRコードがあり配慮されているが、高齢者にとってはハードルが高い面もある。
- ・ 一般質問の問の部分のピンクの網掛けは考えた方がよい。（弱視の人には青色が見やすいと言われている）
- ・ 意見交換をする時に、過去一年位の議会だよりを用意してほしい。
- ・ 一般質問の問と答について、そのやり取りを載せるだけではなく質問後の議員の感想や総括を

載せると面白いのでは。

- ・ 一般質問の出自の記載があると他の人も頼みやすくなるのではないか、質問の背景が分かるといい。(例えば〇〇区の商店)
- ・ 他市町村が良いことをやっているからそれを真似するのではなく、この地域の課題を解決する一般質問や施策を考えてほしい。

## 2. 議会活動について

- ・ 議会のスケジュール（年間）が載っていたらうれしい。
- ・ QRコードがあるがYouTubeは見づらい。字幕があったほうが良い。切り抜き動画があるとよい。
- ・ 議員さんにおまかせしている、少しひとごとになっている。敷居が高いと感じる。
- ・ 活動をアピールしてほしい。
- ・ 若い人の意見も取り入れてほしい。
- ・ 市民の声を聴くということでは、区の中へ議員が何人か入って話を聞くことも考えてほしい。
- ・ アルパの2階など集会があっても若い人はまず行かない。中高生が集まる時間がある。身近に議員の集まりがあるといった視線のなかに入ると良い。フリースペースでアルパとか、ぱとな等でやるのもよいのでは。
- ・ 小町屋は議員がいなくて残念。長年、市民会議に出ているが区の要望は、区長を通すよりも議員さんを通したほうが早い時がある。
- ・ 一般質問をいつどこで誰がやるか分からない。日報にも出るんだろうが情報をうまくとれない。
- ・ 質問に対しての答弁が市長にしても教育長にしても歯がゆい。もう少し詰めていくような質問を。
- ・ 自分が質問した内容をまたその後どうなっているかを質問、追及していくことも大事では。

## 3. 市政について

- ・ 駒ヶ根は自然の良さがいっぱいあるのでもっとアピールしてもらいたい。
- ・ 駒ヶ根高原の魅力を地元の市民も知らないことがある。
- ・ 市議は関わりのない上のほうの人だと思っていた。自分には関係のない世界だと。でもあることで、話をとおしてくれて、市議ってこうやって使えばいいんだと利用させていただいた。議員さんとのかかわりができて、議員さんを身近に感じる事ができた。なんで今まで頼らなかつたのか。そういうことを知らない人が多いんじゃないかな。
- ・ 手助けとか代弁をしてくれる、助けてくれる人なんだと最近思った。
- ・ IT関係の仕事をしているが、Wi-Fiが使える場所が少ない。ぱとなでは、「ここは市民活動

の場だから駄目だ」と言われてしまった。アルパ2Fは、Wi-Fiは3回接続までと制限がある伊那市では消防署跡地等、2カ所使用ができる場所がある。塩尻市は、イオン跡地で使用でき、駐車場は6時間まで無料となっている。

- ・ 高校生等が自習したり勉強する場所が少ないと感じる。
- ・ 数か月前に駒ヶ根に移住してきた。移住までの間は移住促進担当者が空き家情報や手続きについて説明があり、また不動産会社のお世話になりました。移住者の集いが計画されているが、移住後の状況等をもう少し聞いてほしい。
- ・ 昨年の小学校入学児童が220人と聞き驚いた。子どもを分娩できる場所が少ない。看護大があるので、そことの連携を企画したり、助産師さんの力を借りたりして、子どもを安心して産める環境の充実を図ってほしい。
- ・ 大学進学などで駒ヶ根を離れた子どもが戻ってきたい、住みたいと思える駒ヶ根市にしてほしい。Uターン中の男女比では女性が圧倒的に少ない。
- ・ 移住者にとっての支援は、近隣自治体に比べると少ない。
- ・ 子育てを始めてから市報や市議会だよりを見るようになった。子育て支援についてももっと早くやってほしかった施策もある。
- ・ ホームページ等支援のメニューを探したりするが分かりづらい。
- ・ 駒ヶ根市のLINEの情報はタイムリーで有難い。